

HABUDAS2024

令和6年3月発行

編集・発行
 ハブ対策推進協議会
 事務局：名瀬保健所衛生・環境室
 奄美市名瀬永田町17-3
 TEL(0997)52-5411

◎令和5年 ハブ咬傷者数 **37名**

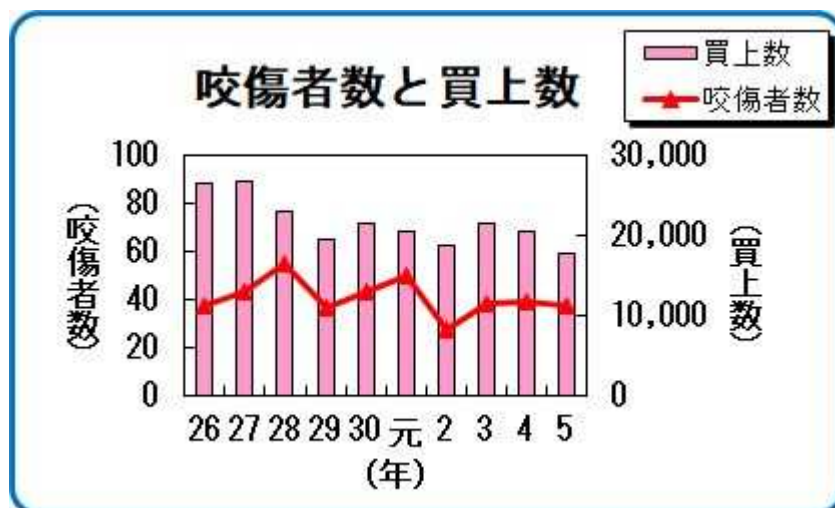
奄美大島 22名

徳之島 15名

◎令和5年 ハブ買上数 **17,693匹**

奄美大島 10,251匹

徳之島 7,442匹



《ハブの生態について》

クサリヘビ科マムシ亜科ハブ属の毒ヘビで、奄美群島では、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島及び徳之島に生息しています。

ハブは気温が18℃～30℃（特に24℃前後）が最も活動しやすく、一年の中では、4月から6月と9月から10月が活動の盛んな時期になります。

直射日光に弱く、日光を避けて草木等の陰にいることが多いので、注意しましょう。

ハブの餌は80%以上が野ネズミで、他に鳥類やトカゲ、カエルなどを食べています。

S字形にした体を瞬間的に伸ばすことによって、相手に噛みつき、全長の3分の2の距離までが攻撃範囲となります。

ハブの毒は出血毒で、咬まれると激痛と腫れが広がり、筋肉が溶かされて、ひどい場合は死亡することがあります。

ハブに咬まれないための7か条

- ①道路の中央を歩く。
- ②不用意に草むらに入らない。
- ③夜は照明を持って歩く。
- ④ハブやネズミの隠れ場所になる家の周りの草や木の枝などを刈る。
- ⑤草むらに入るときは、深い長靴を履き、棒であらかじめ叩いてから進む。また、ハブを見つけたら1.5メートル以上離れる。
- ⑥小屋などの戸を開けて入るときは、上下左右・頭上を確かめてから入る。
- ⑦草むらや川岸で作業するときには、つばの大きな帽子、厚手の長袖シャツ、革の手袋、脚はん、長靴を着用する。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



《もしもハブに咬まれたら!?!》

すぐに医療機関で治療を受けることが大切ですが、医療機関に着くまでの応急処置が咬傷の重症化を防ぐうえでも極めて重要です。

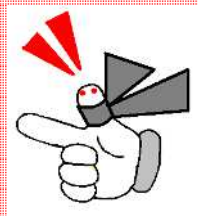
HELP~!!



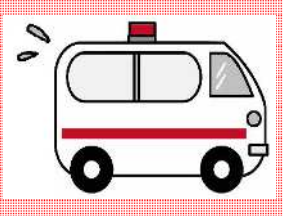
- ①身近にいる人に助けを求め、走ったりせず、**落ち着いて安静に。**



- ②傷口から血液と一緒に早く**携帯用ハブ毒吸出器**等で**ハブ毒を吸い出す。**



- ③毒が体内に広がるのを遅らせるため、傷口より心臓に近いところをタオルなどで**きつく縛る。**



- ④すぐに病院に行き、**医師の処置を受ける。**
※予め病院に電話連絡などしておけば早く血清などの治療の準備ができます。

《携帯用ハブ毒吸出器の使い方》

ハブ対策推進協議会では、一人でも毒の吸い出しができる「携帯用ハブ毒吸出器」の普及を図っています。島内の薬局等で購入することができ、手軽に扱いやすくなっています。屋外で作業をされる場合など、携行することをお勧めします。



① 咬まれた傷の大きさに合った形のカップを選び、筒先にしっかりと取り付ける。



② 白いシリンダーをいっぱいに引き出し、カップを傷口に押し当てる。



③ そのままシリンダーを最後まで押し入れ、カップ内に血液が溜まったら、シリンダーを引き血液を捨てる。

①から③までを**病院に着くまで続ける。**



《奄美大島・徳之島の蛇について》

奄美大島・徳之島には9種類の蛇が生息しています。

そのうち毒蛇は、ハブ、ヒメハブ、ガラスヒバア、ヒャン（奄美大島のみ）、ハイ（徳之島のみ）の5種類、無毒蛇はアカマタ（マツブ）、アマミアオヘビ、アマミタカチホヘビ、メクラヘビの4種類です。

なかでもハブは最大の蛇で、その色から金ハブ、銀ハブ、黒ハブ、赤ハブなどと呼ばれていますが、黒ハブや赤ハブは滅多に見かけません。

ハブの毒は出血毒で、咬まれると激痛と腫れが広がり、筋肉が溶かされて、ひどい場合は死亡することがあります。



金ハブ



銀ハブ



ヒメハブ

クサリヘビ科
マムシ亜科
ハブ属
出血毒



ガラスヒバア

ナミヘビ科
ヒバカリ属
出血毒



ヒャン



ハイ

コブラ科
ワモンベニヘビ属
神経毒

《ハブの感覚器について》

ハブは温度を感知するピット器官と臭いを感知するヤコブソン器官という人にはない感覚器を持っています。

ピット器官は周囲の温度を正確に感知できる赤外線センサーです。温度の高い物体が近くで動いていると、ハブは咬みつくとこの行動を止めることができません。ハブが人を認識する前に、人がハブを見つけることができればハブに咬まれるリスクは抑えられます。夜道などは照明を持って歩きましょう。

ヤコブソン器官は舌の先についた臭いを嗅ぐための器官です。ハブはチョロチョロ出した舌の先をヤコブソン器官の中に差し入れます。餌になる動物の臭いを嗅いでいるといわれています。

《令和5年度ハブ咬傷予防対策ポスター最優秀賞受賞作品》

小学校低学年の部



★ 最優秀賞 ★

奄美市立名瀬小学校2年 濱崎 あきの さん

夜外を歩くと、草むらにハブが隠れている場面を描きました。ハブのうろこを一つ一つ丁寧に描くことにこだわりました。また、ハブの体の形を描くのが難しかったです。ハブは咬まれると危ないというイメージがあります。夜歩くときは、ライトを持ってハブに気をつけてほしいです。

★ 優秀賞 ★

伊仙小 1年 太山 輝真 さん

★ 入 選 ★

大川小 2年 久原 慎喜 さん

亀津小 2年 白山 葵 さん

朝日小 1年 有吉 蓮 さん

小学校中学年の部



★ 最優秀賞 ★

奄美市立小宿小学校3年 泉 心絢 さん

暗い場所を歩くと、ハブはいないかなとドキドキしている場面を思い浮かべて描きました。ハブのうろこを細かく描くところは時間がかかりました。また、夜の暗さを真っ黒にせず、ハブに狙われているような感じにするために何色か混ぜました。

★ 優秀賞 ★

母間小 4年 池畑 海莉 さん

★ 入 選 ★

朝日小 4年 常田 朔 さん

古仁屋小 4年 斉藤 きい さん

亀津小 3年 福岡 椿 さん

ハブには咬まれると死んでしまうイメージや、ハブなどがいるから森が守られているイメージがあります。夜道や草むらに入るときは、ハブがいると思ってとにかく注意してほしいです。

小学校高学年の部



★ 最優秀賞 ★

奄美市立小宿小学校6年 梶 虹晴 さん

草むらにハブがいる様子を思い浮かべて描きました。ハブの模様にこだわりました。ハブは奄美大島の自然を守っている守り神のような存在というイメージがあります。草むらや畑で作業する人たちや山へ行く人に、小さなハブでも気をつけてと伝えたいです。

★ 優秀賞 ★

知根小 6年 榮 睦月 さん

★ 入 選 ★

亀津小 6年 幸 優愛 さん

岡前小 6年 角川 結 さん

馬根小 5年 常 龍之助 さん

《ハブに咬まれたときの医療機関一覧》

R6.1.1 現在

(市外局番0997) ※ハブ血清を備蓄している医療機関一覧

奄美市(名瀬)			大和村			徳之島町		
県立大島病院	真名津町	52-3611	国民健康保険大和診療所	大棚	57-2053	宮上病院	亀津	82-0002
朝沼クリニック	石橋町	55-1555	宇検村			徳之島徳洲会病院	亀津	83-1100
つばたクリニック	久里町	57-7771	国民健康保険宇検診療所	湯湾	67-2030	徳之島診療所	亀津	83-2131
奄美中央病院	長浜町	52-6565	瀬戸内町			天城町		
名瀬徳洲会病院	朝日町	54-2222	瀬戸内徳洲会病院	古仁屋	73-1111	天城診療所	天城	85-3315
			瀬戸内町へき地診療所	船津	72-3211	あまぎユイの里医療センター	天城	85-3080
			かけろまぐるぐるクリニック	瀬相	75-0690	伊仙町		
奄美市(笠利)			龍郷町			伊仙クリニック	伊仙	86-3030
笠利国民健康保険診療所	中金久	63-0011	龍郷中央クリニック			瀬留		62-2525
笠利病院	中金久	55-2222	肥後医院			赤尾木		62-3023
記念クリニック奄美	節田	55-2271	肥後診療所			秋名		62-4023
奄美市(住用)			みんなの診療所			中勝		62-5010
住用国民健康保険診療所	西仲間	69-2620						

大島支庁ハブ情報のホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao04/chiiki/oshima/kurashi/habu-joho.html>
鹿児島県ホームページ > 地域振興局・支庁 > 大島支庁 > くらし・環境 > ハブ情報